

### ● 診療科の特色

当院は国の政策医療としての成育医療の基幹病院であり、一般小児病棟は 50 床を有し、新生児病棟の 50 床と併せて 100 床の小児病棟を擁し、子ども病院に準ずる扱いで、岡山県内で唯一、国立成育医療センターを top とする小児総合医療施設協議会に加盟を許されています。

小児科では高度専門医療と救急医療を 2 本柱として、あらゆる小児内科疾患に対応すべき体制を 24 時間整えています。年間新入院患者数は一般小児科だけで約 2,000 名であり、救急センターの年間受診者数は時間外選定療養費を徴収しているにも拘らず約 7,000 名で、救急での入院率は 20～30%と非常に高率です。またコロナ禍においては、岡山県の小児重点施設として率先して多くの新生児・小児 COVID-19 患者の診療にあたってきました。専門領域は多岐にわたります。内分泌領域では、成長ホルモン治療患者数は中四国 1 を誇っています。また、岡山市内で唯一小児の透析治療を含む腎不全管理を透析担っています。その他、感染性疾患ではその他小児科一般診療としてアレルギー疾患、神経疾患、代謝疾患等を重点的にカバーしています。心臓疾患に関しては岡山大学から毎週、また小児整形に関しても旭川荘療育医療センターから毎月専門医が派遣されています。従って、臨床研修において、専門性の高い疾患から急性疾患に至るまで、その数、内容共に十分な症例を供給できます。また、教育にも力を入れており、月・水・金に入退院カンファがあり、木曜日には小児外科・新生児科と合同のカンファがあり、ここでは症例発表及びスタッフによる short lecture があります。更に抄読会・輪読会やフィルムカンファなども若手中心に行われています。岡山大学や他大学からの医学生実習も受け入れています。一方、定期的にセミオープン全国規模の救急研修会や成育研修会を開催しており、また当科主催で、県内若手勤務医のための勉強会も年 2 回開催しています。もう一つ当院の特徴的なものとして臨床研究部の存在があります。当科は成育医療推進研究室に属しており、臨床研究を行うことができると共に、研究予算が得られます。

このように、臨床研修だけでなく、臨床研究に至るまで幅広い研修を受けることが可能です。国立病院機構ネットワークを通じて内地留学や、国外留学制度も取り入れています。

後期研修においては年間約 400 名の新入院症例を有する新生児科と約 800 の手術件数を誇る小児外科における研修も含まれます。

2025年度には小児難病診療センターを開設予定です

### ● 入院診療実績

1. 2024 年度 小児科疾患別一覧	ICD-10	患者数	死亡患者数
感染症および寄生虫症	A00-B99	129	0
新生物	C00-D48	67	0
血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	19	0
内分泌, 栄養および代謝疾患	E00-E90	181	0
精神および行動の障害	F00-F99	8	0
神経系の疾患	G00-G99	88	1
眼および付属器の疾患	H00-H59	5	0
耳および乳様突起の疾患	H60-H95	2	0
循環器系の疾患	I00-I99	9	1
呼吸器系の疾患	J00-J99	613	0

消化器系の疾患	K00-K93	64	0
皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	23	0
筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	108	0
腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	79	0
周産期に発生した病態	P00-P96	9	0
先天性奇形, 変形および染色体異常	Q00-Q99	18	0
症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	98	0
損傷, 中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	134	0
原因不明の新たな疾患	U00-U79	26	0
総 計		1680	2

2. 特殊検査法		症例数	合併症の有無とその内容	死亡退院数
1	心エコー	491	なし	0
2	腎生検	10	なし	0
3	下垂体機能検査	51	なし	0
4	脳波	583	なし	0
5	経口負荷試験(食物アレルギー)	99	なし	0

3. 特殊治療法	症例数	処置合併症とその内容	長期予後
酵素補充療法	13	特記事項無し	QOLの向上、延命効果
在宅腹膜透析	2	特記事項無し	QOLの向上、延命効果
在宅酸素療法	28	肺炎	QOLの向上、延命効果
栄養指導療法(外来)	81	特記事項無し	経口摂取制限解除
在宅人工呼吸器	23	特記事項無し	QOLの向上、延命効果

4. 教育・研修	開催頻度		開催頻度
入退院カンファランス	3回/週	合同カンファランス	1回/週
部長・医長回診	2回/週	輪読会	1回/週
抄読会	1回/週	レントゲンカンファランス	1回/2週
PALSに準じた多職種シミュレーション	1回/週	レジデント症例検討会	1回/2週

## ● 研究業績

### 論文

- 1) Tamefusa K, Ochi M, Ishida H, Shiwaku T, Kanamitsu K, Fujiwara K, Tatebe Y, Matsumoto N, Washio K, Tsukahara H  
Delayed diagnostic interval and survival outcomes in pediatric leukemia: A single-center, retrospective study.  
European Journal of Haematology, 112, 5, 714-222, 2024, MAY
- 2) Fujiwara S, Harada K, Hagiya H, Koyama T, Hasegawa K, Tsukahara H, Otsuka F  
Trends in childhood obesity in Japan: A nationwide observational study from 2012 to 2021.  
Clinical Obesity, 14, 2, 2024, APR

- 3) Akiyama T, Saigusa D, Inoue T, Tokorodani C, Akiyama M, Michiue R, Mori A, Hishinuma E, Matsukawa N, Shibata T, Tsuchiya H, Kobayashi K  
Exploration of urine metabolic biomarkers for new-onset, untreated pediatric epilepsy: A gas and liquid chromatography mass spectrometry-based metabolomics study.  
Brain & Development, 46, 4, 118-126, 2024, APR
- 4) Miyazaki A, Yoshinaga M, Ogata H, Ito Y, Aoki M, Kubo T, Shinomiya M, Horigome H, Tokuda M, Lin LS, Takahashi H, Nagashima M  
An Alternative Approach to Determining Metabolic Syndrome Component Cutoffs in Children and Adolescents Using Segmental Regression Analysis.  
Circulation Reports, 6, 4, 118-126, 2024, APR
- 5) Fujiwara S, Higuchi Y, Furujo M, Goda M, Takigawa Y, Sato K, Hitomi K, Mukai W, Oiwa M  
Seven-year-old boy with severe dyspnoea and influenza virus infection.  
Journal of Paediatrics and Child Health, 60, 10, 619-620, 2024, OCT
- 6) Fujiwara S, Leibovitch E, Harada K, Nishimura Y, Woo R, Otsuka F, Bhagavathula AS  
Trends in adverse effects of medical treatment in Paediatric populations in the United States: A global burden of disease study, 2000-2019  
Paediatric and Perinatal Epidemiology, 38, 8, 692-699, 2024, NOV
- 7) Tamefusa K, Ishida H, Miyahara D, Shiwaku T, Ochi M, Kanamitsu K, Fujiwara K, Tatebe Y, Washio K, Akiyama T, Tsukahara H  
Alectinib maintenance therapy following cord blood transplantation for relapsed pediatric anaplastic large cell lymphoma with central nervous system involvement  
Annals of Hematology, 103, 11, 2024, NOV
- 8) Fujiwara S, Otsuka Y, Furukawa M, Higashikage A, Otsuka F  
Clinical Characteristics of Persistent Hypophosphatasemia Uncovered in Adult Patients: A Retrospective Study at a Japanese Tertiary Hospital  
Journal of clinical medicine, 13, 23, 2024, DEC
- 9) 永井 詩織, 金光 喜一郎, 藤原 進太郎, 杉山 啓明, 高橋 雄介, 清水 順也  
トスフロキサシン内服後に消化器症状および急性腎障害を呈し, 尿中より薬剤結晶を検出した女児例  
日本小児腎不全学会雑誌, 44, 229-232 2024年 8月1日
- 10) 西村 和将  
短期間に発熱性尿路感染症と両側眼窩隔膜前蜂窩織炎を発症し, 自己免疫性好中球減少症と診断した一例  
岡山医療センター 年報, 20, 267-268 2025年 3月24日
- 11) 村山 昇平  
サルモネラ菌血症に合併した化膿性仙腸関節炎が疑われた一例  
岡山医療センター 年報, 20, 272-274 2025年 3月24日

#### 学会発表

- 1) 日常遭遇する小児内分泌疾患と肥満 ～校医、園医が押さえておきたいものを中心に～  
久保 俊英  
岡山県小児科医会学術講演会 2024年 4月14日
- 2) 小児菊池病における血清アルカリフォスファターゼ値の検討  
藤原 進太郎  
第127回 日本小児科学会総会 2024年 4月19日
- 3) ループスアンチコアグラント低プロトロンビン血症症候群を先行発症した小児全身性エリテマトーデスの1例  
金光 喜一郎  
第127回 日本小児科学会総会 2024年 4月19日
- 4) 成人古典的フェニルケトン尿症患者を対象にした新規治療に対するアンケート調査  
古城 真秀子  
第127回 日本小児科学会総会 2024年 4月21日

- 5) 成人低アルカリフォスファターゼ血症の検出頻度とその特徴  
藤原 進太郎  
第 97 回日本内分泌学会学術総会 2024 年 6 月 8 日
- 6) 成人古典的フェニルケトン尿症患者を対象にした新規治療に対するアンケート調査  
古城 真秀子  
第 51 回日本マススクリーニング学会学術集会 2024 年 8 月 23 日
- 7) 当院でボソリチド投与を開始した軟骨無形成症の乳幼児3例  
樋口 洋介  
第 25 回日本内分泌学会中国支部学術集会 2024 年 9 月 7 日
- 8) 頻回嘔吐を繰り返したカルニチン低値の4症例  
川崎 綾子  
第 57 回日本小児内分泌学会学術集会 2024 年 10 月 10 日
- 9) Isolated GHD Type II の兄妹例  
樋口 洋介  
第 57 回日本小児内分泌学会学術集会 2024 年 10 月 11 日
- 10) アルブトレペノナコグ・アルファの 2 週間間隔投与で出血予防を行った重症血友病 B の乳児例  
(Successful biweekly administration of Albutrepenonacog Alfa in an infant with severe hemophilia B)  
金光 喜一郎  
第 86 回日本血液学会学術集会 2024 年 10 月 11 日
- 11) 外性器男性化にて発見された 21 水酸化酵素欠損症姉と対峙診断・胎児治療を行われた妹の臨床経過の比較  
古城 真秀子  
第 57 回日本小児内分泌学会学術集会 2024 年 10 月 11 日
- 12) 複雑型熱性けいれんにおける脳波異常の特徴に関する検討  
井上 拓志  
第 78 回国立病院総合医学会 2024 年 10 月 18 日
- 13) A 型肝炎ウイルス感染と関連した伝染性単核球症様症候群 (Infectious Mononucleosis-like syndrome) の一例  
小若 未来登  
第 78 回国立病院総合医学会 2024 年 10 月 18 日
- 14) 皮膚症状で発症し、silent lupus 腎炎と診断された SLE の男児例  
井原 康人  
第 87 回岡山腎疾患懇話会 2024 年 10 月 19 日
- 15) 当院で経験したフォンウィルブランド病の 2 症例  
金光 喜一郎  
第 76 回中国四国小児科学会 2024 年 10 月 26 日
- 16) 待機手術が可能であった CPS1 欠損症の症例  
延藤 千夏  
第 65 回日本先天代謝異常学会学術集会 2024 年 11 月 7 日
- 17) 低身長・低血糖を契機に診断されたシトリン欠損症の一例  
古城 真秀子  
第 65 回日本先天代謝異常学会学術集会 2024 年 11 月 7 日
- 18) 当院でボソリチド投与を開始した軟骨無形成症の乳幼児 3 例  
藤原 進太郎  
第 34 回臨床内分泌代謝 Update 2024 年 11 月 30 日
- 19) 溶血性尿毒症症候群を発症し、血液透析及び血漿交換を要した一例  
川崎 綾子  
第 97 回日本小児科学会岡山地方会 2024 年 12 月 1 日
- 20) 岡山県内の養護教諭を対象としたスポーツによる相対的エネルギー不足 (Relative energy deficiency in sport) の認識調査  
樋口 洋介  
第 97 回日本小児科学会岡山地方会 2024 年 12 月 1 日

- 21) 呼吸器症状で発症した ANCA 関連血管炎 (AAV) の女児例  
守屋 優  
第 45 回日本小児腎不全学会学術集会 2024 年 12 月 5 日
- 22) こども園との連携によってセンサー機能付きインスリンポンプの導入が可能であった 1 型糖尿病の未就学児  
藤原 進太郎  
第 62 回日本糖尿病学会中国四国地方会 総会 2024 年 12 月 5 日
- 23) 全肺照射と強化した化学療法で肺 VOD を合併したびまん性退形成 Wilms 腫瘍の 1 例  
金光 喜一郎  
第 66 回日本小児血液・がん学会学術集会 2024 年 12 月 13 日

#### 講演、研究会

- 1) 第 127 回日本小児科学会学術集会 教育セミナー31  
古城 真秀子 2024 年 4 月 21 日
- 2) GCBP 学術集会  
古城 真秀子 2024 年 6 月 21 日
- 3) 岡山 SMA NBS Symposium  
古城 真秀子 2024 年 6 月 25 日
- 4) NF1 Seminar in Okayama  
金光 喜一郎 2024 年 7 月 3 日
- 5) 第 87 回岡山腎疾患懇話会役員会  
清水 順也 2024 年 10 月 19 日
- 6) ファブリー病の診断と治療について考える会  
古城 真秀子 2024 年 10 月 25 日
- 7) フェニケルケトン尿症 Web 講演会  
古城 真秀子 2024 年 10 月 29 日
- 8) Room For growth Seminar  
樋口 洋介 2024 年 11 月 23 日
- 9) 第 4 回ヒュンタラーゼ研究班会議  
古城 真秀子 2024 年 11 月 28 日
- 10) Sogroya Web Seminar  
古城 真秀子 2024 年 12 月 6 日
- 11) JCR 内分泌フォーラム in 岡山  
樋口 洋介 2025 年 3 月 1 日

#### 座長

- 1) Fabry Disease Web Conference  
古城 真秀子 2024 年 5 月 17 日
- 2) 第 11 回ムコ多糖症フォーラム  
古城 真秀子 2024 年 6 月 8 日
- 3) ゴーシェ病サミット  
古城 真秀子 2024 年 10 月 20 日
- 4) 第 19 回岡山川崎病・小児循環器病研究会  
清水 順也 2024 年 11 月 28 日
- 5) Japan Fabry Academy in Kansai  
古城 真秀子 2025 年 2 月 18 日